2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース

デッサン1

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	築地史郎、	杦浦正一.	郎	実務 経験	有	職種	画家(築地)、	背景美術	う (杦浦)	

授業概要

デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。

到達目標

描画の本質とポイントを見極めそれらをつなぐ線を描くことができ、人物の顔や手足が素早く描けるようになります。合わせて、ネガティブスペースの把握や計測の技術を学び人物の全身が短い時間で描けるようになります。

授業方法

各課題は講師のデモンストレーションを見ながら実践します。実技面での個別指導は毎回あるものとします。人物クロッキーは画力向上のため毎回行い、初期は静止したモデルを5分程度で描きますが、学生の習熟度に従いムービングや短時間クロッキーを取り入れます。

成績評価方法

課題の出来と提出を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度も評価に加えます。

履修上の注意

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。授業時数の4分の3以上出席すること。

教科書教材

クロッキー帳3~4Bの鉛筆。資料を配布し参考書・参考資料等は、授業中に指示します。

回数	授業計画
第1回	パースと人物机と椅子背景美術とは
第2回	パースと人物車の見方の確認遠近法(1)
第3回	顔を含む全身を描く遠近法(2)

2020年度	日本工学院八王子専門学校								
マンガ・アン	マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース								
デッサン1									
第4回	頭身と計測の仕方遠近法(3)								
第5回	人物と登り坂、下り坂遠近法(4)								
第6回	メガネや靴、衣装の描き方(1)スケッチ自然物								
第7回	彫刻を描く(1)クリンナップ(1)								
第8回	彫刻を描く(2)クリンナップ(2)								
第9回	クロッキーツアー室内パース(1)								
第10回	ムービングと人物デッサン(2)室内パース(2)								
第11回	ムービングと人物デッサン(3)レイアウト								
第12回	楕円の描き方とグラスデザイン								
第13回	グラスのデッサン仕上げ背景とキャラクター								
第14回	デッサンクロッキー総合背景制作実践								
第15回	前期のまとめ								

2020年度 日本工学院八王子専門学校 マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース

デッサン1

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	山内唯志、	田中良太		実務 経験	有	職種	デッサ	ン指導員			

授業概要

前半は鉛筆の使い方から陰影の法則、基本的な形態のデッサンを反復し、しっかりと基本を身につける。 後半は応用的課題で身につけた基礎を確認する。 基本的に2週で1課題というペースで授業を進める。

到達目標

紙という二次元に鉛筆によって三次元空間を表現するための様々な技術を身につけ、しっかり物を見る力を培い、表現できるようになることが目標である。

授業方法

鉛筆やその他の描画画材で、設置されたモチーフ、風景、人物などを画用紙に描写する。応用編としてモチーフのない想定課題も実施する。授業内容は都合により事前連絡の上で変更される場合がある。

成績評価方法

①出席率(全体の75%以下は不合格判定)、②作品提出率(全体の70%以下は不合格判定)、③講評時の出席

履修上の注意

忘れ物をしないこと。課題提出締め切り日は守ること。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。作画は量なので、多く描けるように努力すること。

教科書教材

入学時に購入したデッサン参考書などを個人で参照する資料として活用する。

回数	授業計画
第1回	ガイダンス
第2回	静物デッサン①
第3回	静物デッサン②

2020年度 日本工学院八王子専門学校									
	マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース								
デッサン1									
第4回	静物デッサン②								
第5回	静物デッサン③								
第6回	静物デッサン③								
第7回	細密デッサン								
第8回	細密デッサン								
第9回	人物デッサン①								
第10回	人物デッサン①								
第11回	自画像①								
第12回	自画像①								
第13回	想定デッサン①								
第14回	風景デッサン①								
第15回	風景デッサン①								

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース

デッサン1

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	加藤正			実務 経験	有	職種	画家、	版画家			

授業概要

デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。

到達目標

デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。自分の感性を素直に表現できる描写力を身につけ、今後の制作に活かせるようにする。遠近法の理解を深める。自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力、観察眼を養う。人体のプロポーションを理解する。

授業方法

鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になります。これまでデッサンの経験がある人ない人さまざまですので、描き易いモチーフから授業を進めていきます。一つの課題が終わるごとに課題作品を並べて講評をします。他の人の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性に気がつきます。毎回、人物クロッキーを5分x2回行います。

成績評価方法

課題作品の評価と授業態度による

履修上の注意

授業の始めに実技のポイントなどを説明しますので遅刻をしないこと。10分以上遅刻は欠席となりますので注意して下さい。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参するように。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるようにして下さい。時限出席率75%以下は課題を提出していても不合格となります。

教科書教材

特になし

回数	授業計画
第1回	ガイダンス、クロッキー。デッサンをする上での道具や用具の使い方について理解する
第2回	人体骨格の模写。人体の構造の理解を深める
第3回	幾何形体(多面体)を描く。基本的なデッサンのプロセスを理解する

2020年度	日本工学院八王子専門学校
マンガ・ア	ニメーション科四年制 マンガコース
デッサン1	
第4回	校内写生(雨天順延)。構図に注意し、遠近感を出すことに考慮する
第 5 回	幾何形体(球、円柱、円錐)を描く。明度の違いは、光源との距離と光源に対す る面の傾きによって決まる事を理解する
第6回	手を描く。形態の把握と質感の違いを理解し、表現に結びつける
第7回	足の石膏デッサン(1)。形態の把握と構図について理解する
第8回	足の石膏デッサン (2) 。空間の認知と存在感を意識する
第9回	人物スケッチ、クロッキー。基本的な石膏像デッサンのプロセスを理解する
第10回	ヌードデッサン(女性)。人体のプロポーションを理解する
第11回	ヌードデッサン(男性)。人体のプロポーションを理解する
第12回	石膏像デッサン(1)。基本的な石膏像デッサンの描き方のプロセスを理解する
第13回	石膏像デッサン(2)。質感、量感、明度などに注意し、存在感のある作品に仕上 げる
第14回	ビンを描く。透明感のある物の描き方を習得する
第15回	遠近法、透視図法について。遠近法、透視図法を理解する